

アウトプット指標（活動指標）

■ 事業の成果を複数年にわたって計測するためのKPI（3カ年分）

| KPI① | 地域包括支援センター支援システムを活用した認定調査件数 | 種別 | アウトプット | 単位 | 件 |
|----------------|---|----|---------|----|---------|
| KPIの概要、測定方法 | 包括の介護認定調査員がシステムを活用して作成した年間の調査票件数 | | | | |
| 事業成果等の計測に適する理由 | 本事業で導入するシステムを活用しての調査票作成件数であり、本事業の成果測定に適している。 【数値の設定根拠】R3～5年度の平均調査件数293件。初年度は、システム導入までの期間やシステムの操作方法習得までの期間の調査は、従来通りのWordやExcelで行うと考え、平均値より半分程度の150件。翌年度は、全件、システムを活用して調査票を作成するとして、300件。翌々年度は、介護申請の需要も年々増加傾向にあるため、過去3年の増加件数の平均値を足して、318件。 | | | | |
| | 2025年度末 | | 2026年度末 | | 2027年度末 |
| 計画値 | 150 | | 300 | | 318 |
| 実績値 | 21 | | | | |
| 達成状況 | 未達成 | | | | |
| 達成できなかった理由 | 地域包括支援センター支援システムのメーカーと締結する契約書の内容に疑義があり、両者納得する内容の契約書とするのにかなりの期間を要し、システムの運用期間が短かったため。システム運用開始となったのが令和8年1月27日。そこから、調査票作成のシステム操作方法等システムメーカーから指導を受け、システムを活用しての調査票作成開始となったのが令和8年2月10日。 | | | | |
| 今後に向けた取組 | システムを活用しての調査票作成開始となった令和8年2月10日以降の介護認定調査では、介護認定調査員全員が地域包括支援センター支援システムを活用して調査票の作成を行っているため、令和8年度以降も引き続きシステムを活用することで、調査票作成に要する時間の短縮を図り、調査票作成件数の増加を目指す。 | | | | |

※2025年度末の実績値は、システム導入以降から年度末（令和8年1月～令和8年3月）までの数値となっています。

アウトプット指標（活動指標）

■ 事業の成果を複数年にわたって計測するためのKPI（3カ年分）

| KPI② | 地域包括支援センター支援システムを活用したケアプラン作成件数 | 種別 | アウトプット | 単位 | 件 |
|----------------|--|---------|---------|----|---|
| KPIの概要、測定方法 | 包括のケアマネジャーがシステムを活用して作成した年間のケアプラン件数 | | | | |
| 事業成果等の計測に適する理由 | 本事業電導入するシステムを活用してのケアプラン作成件数であり、本事業の成果測定に適している。 | | | | |
| | 2025年度末 | 2026年度末 | 2027年度末 | | |
| 計画値 | 10 | 26 | 30 | | |
| 実績値 | 22 | | | | |
| 達成状況 | 達成 | | | | |
| 達成のための取組内容や工夫 | システムのフォーマットが入力しやすくなり、システム導入前よりケアプラン作成作業がスムーズになったことや、複数台の端末にソフトウェアをダウンロードしたことで、複数人のプランナーが同時にケアプランを作成することができ、時間短縮にも繋がり、業務の効率化が図れたことが、KPI達成に寄与したと考える。 | | | | |
| 今後に向けた取組 | 訪問先等の現場において、本システムを持ち出し、入力作業を行うことで、記録やプラン作成時間の更なる短縮が図られ、業務の負担軽減及び効率化に繋がると考えている。持ち出して現場で活用することがまだ不慣れであるが、実施件数を増やし、本システムの有効な活用に繋げていきたい。 | | | | |

※2025年度末の実績値は、システム導入以降から年度末（令和8年1月～令和8年3月）までの数値となっています。

アウトカム指標（成果指標）

■ 事業の成果を複数年にわたって計測するためのKPI（3カ年分）

| KPI① | 介護認定申請から30日以内に認定した件数 | 種別 | アウトカム | 単位 | 件 |
|----------------|---|---------|---------|----|---|
| KPIの概要、測定方法 | 介護認定申請から30日以内に認定が出た年間件数 | | | | |
| 事業成果等の計測に適する理由 | 申請から認定が出て、サービス提供されるまでに時間を要することが、住民サービスの質の低下につながっており、課題となっている。その課題を解決しているかを判断するための適切な指標であるため。また、30日以内に認定が出た件数は、令和5年度、102件。過去3年の平均は、97件。なお、30日以上の日数を要した件数は、令和5年度、191件。過去3年の平均は、180件。 | | | | |
| | 2025年度末 | 2026年度末 | 2027年度末 | | |
| 計画値 | 100 | 200 | 250 | | |
| 実績値 | 9 | | | | |
| 達成状況 | 未達成 | | | | |
| 達成できなかった理由 | 地域包括支援センター支援システムのメーカーと締結する契約書の内容に疑義があり、両者納得する内容の契約書とするのにかなりの期間を要し、システムの運用期間が短かったため。システム運用開始となったのが令和8年1月27日。そこから、調査票作成のシステム操作方法等システムメーカーから指導を受け、システムを活用しての調査票作成開始となったのが令和8年2月10日。R7年度中にシステムを活用して作成した調査票の件数は21件。そのうち30日以内に認定が出た件数は9件であった。 | | | | |
| 今後に向けた取組 | システムを活用しての調査票作成開始となった令和8年2月10日以降の介護認定調査では、介護認定調査員全員が地域包括支援センター支援システムを活用して調査票の作成を行っているため、令和8年度以降も引き続きシステムを活用することで、調査票作成に要する時間の短縮を図り、介護認定申請から30日以内に認定した件数の増加を目指し、住民サービスの質の向上につなげる。 | | | | |

※2025年度末の実績値は、システム導入以降から年度末（令和8年1月～令和8年3月）までの数値となっています。

アウトカム指標（成果指標）

■ 事業の成果を複数年にわたって計測するためのKPI（3カ年分）

| KPI② | 介護認定日からサービス提供決定までの平均日数 | 種別 | アウトカム | 単位 | 日 |
|----------------|---|---------|---------|----|---|
| KPIの概要、測定方法 | 認定日～サービス提供決定までの日数を計測し、平均値を算出する。なお、現在の手続きにかかる所要日数は平均31日。 | | | | |
| 事業成果等の計測に適する理由 | 認定が出て、サービス提供されるまでに時間を要することが、住民サービスの質の低下につながっており、課題となっている。その課題を解決しているかを判断するための適切な指標であるため。 | | | | |
| | 2025年度末 | 2026年度末 | 2027年度末 | | |
| 計画値 | 31 | 28 | 25 | | |
| 実績値 | 22 | | | | |
| 達成状況 | 達成 | | | | |
| 達成のための取組内容や工夫 | 導入したシステムを活用することで、利用者から聞き取った内容を、本システムのフォーマットに短時間で入力できるようになり、速やかなケアプラン作成に至ったことがKPI達成に寄与したと考えている。よって、サービス提供までの期間も短縮でき、利用者の満足度にも繋がったと考える。 | | | | |
| 今後に向けた取組 | 訪問時、本システムを持ち出し、訪問先等の現場で直接入力することで、聞き取りした内容の記録やケアプラン作成に係る時間の更なる短縮を図り、サービス利用希望のある利用者や家族に対し、適宜適切なタイミングでニーズに応えられるようにする。 | | | | |

※2025年度末の実績値は、システム導入以降から年度末（令和8年1月～令和8年3月）までの数値となっています。